

# たんぽぽ



vol. 71

平成22年7月発行

発行者 放送大学

富山学習センター

責任者 所長 渡邊 裕司

## 新任のご挨拶

客員教授 九里 徳泰

この4月より、放送大学富山学習センターの客員教授となりました九里（くのり）徳泰です。よろしくお願いいたします。

2009年4月に富山県立大学に新設されました工学部環境工学科に赴任しましたので、富山での生活が2年目となります。1989年に中央大学商学部経営学科（経営社会学専攻）を卒業した後、新聞社での記者、その後作家となり30歳までに世界80カ国を取材旅行してきました。これまでに書いてきたルポルタージュは20冊を超えます。

30歳で大学院に復学しまして、総合政策研究科という専門を複数持つ学際領域から社会問題解決をする学問の道を志しました。学卒から8年遅れの大学院生活は楽しくも生活は厳しいものでしたが、人生の大きな転換点となりました。修士課程を修了した後にすぐに大学研究所の研究者として研究が開始でき、2年所属した後に、34歳で中央大学研究開発機構助教授として採用されました。大学院に進学して5年目のことでした。

自分の研究室を持ち、300名を超える学生の前での講義、企業との共同研究など本格的に教育者としてまた研究者としてスタートが切れました。これも社会人大学院という制度のお陰であると思います。

さて、私の専門は、環境問題解決です。解決には学問の領域は問いません。もちろん私の得意分野はありますが、その中心的な学問は、経営学、環境諸学、政策科学、文化人類学となります。その他にも観光学、環境教育学、開発教育学なども私の守備範囲です。このような幅広い学問のフィールドから自ら「環境経営学」を立ち上げました。1996年にその萌芽的研究を始め、2000年に環境経営学会の黎明期に参画し、現在では学会理事、学会誌編集委員長を任されています。学会誌の題名は「サステイナブルマネジメント」。現在の環境、社会の持続不可能な状態を根本的に見直し、環境も社会もサステイナブル（持続可能に）にしようというマネジメント（経営、管理）を追求する学術誌です。

最後に。放送大学受講の皆様には、学習方法などの全般的な相談に応じます。科目は社会科学全般、企業経営から社会心理学、統計学、地域文化、政策など幅広く相談をお受けできます。また勉強、研究を行っていてわからないことについて気楽に相談してください。金曜日の午前中に富山学習センターにあります。また、隣接する県立大学の私のゼミナールに自主ゼミとして参加することも可能です。こちらも金曜日午後に関講しています。気軽にお声掛けしてください。